

私は開墾者として譲り葉

編集長 三輪純永の



今月の *とまめき* インタビュー

「冬のソナタ」で一段と高まる韓国ブームだが、本紙では1998年から始まった日本のうたごえと韓国民族音楽人協会との演奏交流をはじめ韓国の話題は多い。しかし、この人、女優の黒田福美さんの韓国通は著書のタイトル通り、まさに「ソウルの達人」。その活動は阪神大震災での在日支援、沖繩・摩文仁の沖繩戦犠牲者の名を刻む「平和の礎」の韓国人名調査と奥が深い。著書「ソウル・マイ・ハート」でも伝わるバイタリティな生き方に惹かれ、登場してもらった。(8月9日、黒田さんの事務所にて)



女優黒田福美さんに聞く

三輪 バレーボールの選手・姜萬守さんのファンになったことから黒田さんの韓国を知る旅が始まりますが、それが沖繩の「平和の礎」の碑名の誤りを見つけて、正すことになりました。私もあそこには何度も行きますが、そのことを知

り、今年2月に行った時、「卓庚鉉」さんの名前を捜して写真撮って来ました。黒田 ええ、(写真を見ながら)うれいす。三輪 その沖繩で今年、私たちが11月20日から4日間、日本のうたごえ祭典という音楽祭を開きますが、

その前にせひごうした。黒田さんの活動を紙面で伝えたいと思いました。韓国への関心がどういったところにつながっている、感動です。

三輪 「平和の礎」は95年、大田昌秀知事の時、平和を願うすべての沖繩戦犠

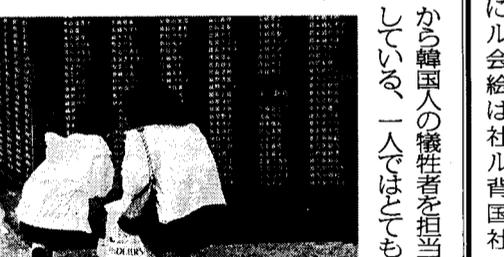
牲者の名を刻もうと建てられました。中国にも出かけています。強制連行も初めて行きました。その時、名前が分からない人、特にそのままだけで残った人も多く、韓国国内だけではわからないからです。

三輪 「平和の礎」は95年、大田昌秀知事の時、平和を願うすべての沖繩戦犠

日韓の宝、洪教授 黒田 私が「平和の礎」の韓国人犠牲者の名前を調べ始めたのは、沖繩で亡くなった韓国人の名を一人で丹念に調べておられる明知大学史学科の洪鍾協教授と出会ったことからです。先生はついでこの間も調査で京都、名古屋、広島を回り

手に負えないが、自分の目の黒いうちは続ける、他にもフリスピン、マレーシアなどきつんと調べてはいます。 (4・5面につづく)

また刻むことを拒否する人もある、しかし、いつか和解し、刻める日のためにと余白も設けて造られたと聞いて、大田知事、沖繩の人々の心を感じました。沖繩に行った時はできるだけここに行っています。



▲沖繩戦のすべての犠牲者を刻む平和の礎 皇陛下の御為に死ぬことに悔いはないが、ただ一つ残念なのは自分が朝鮮人なのに日本人の名前で死んだことだ」と言うのです。

プロフィール

【黒田福美・くるたふくみ】 1956年東京生まれ。桐朋学園大学演劇科卒業。映画、テレビドラマで俳優として活動する一方、韓国通としても知られている。俳優業の他、講演や執筆、真展など開催。1999年11月には「2002年FIFAワールドカップ日本組織委員会」の理事に就任。韓国の絵本「おなかがすいたらごはんたべるんだ」(ポプラ社)の翻訳をはじめ「ソウル・マイ・ハート」「同・背伸び日記」「となりの韓国人」「ソウルの達人」(講談社)などの著書がある。

三輪 黒田さんが調査を始めたきっかけがある時見られた夢だったとか。黒田 はい、「ソウルの達人」に書きましたが、91年に見た夢から始まりです。その夢は今も鮮明に覚えているんです。南国の景色が強い海辺で向こうから背の高い男の人がやってきて、私に向かってニコニコしながら「僕は自衛隊員だったんだけど、ここで死んだんだよね」とすごく明るく言い、「天皇陛下の御為に死ぬことに悔いはないが、ただ一つ残念なのは自分が朝鮮人なのに日本人の名前で死んだことだ」と言うのです。

それなのに今の稲嶺知事はその調査をもう打ち切るという。そんな事あっていいの、と私大暴怒って(笑)い、概文を報道関係者に回しました。こんな日韓の宝のような方を放っておくなんて、私は我慢ができないのです。

夢で会った特攻隊員 三輪 黒田さんが調査を始めたきっかけがある時見られた夢だったとか。黒田 はい、「ソウルの達人」に書きましたが、91年に見た夢から始まりです。その夢は今も鮮明に覚えているんです。南国の景色が強い海辺で向こうから背の高い男の人がやってきて、私に向かってニコニコしながら「僕は自衛隊員だったんだけど、ここで死んだんだよね」とすごく明るく言い、「天皇陛下の御為に死ぬことに悔いはないが、ただ一つ残念なのは自分が朝鮮人なのに日本人の名前で死んだことだ」と言うのです。

今週の記事

- ☆黒田福美さんに聞く/「2004年日本のうたごえ祭典inおきなわ、へ、国鉄のうたごえひろめ隊」 4、5面
- ☆YOUTH STATION関西交流会/各地の合唱発表会から(福島、埼玉) 3面
- ☆【連載】(新連載)「わが国今この曲」おきなわ祭典合同曲ミニ情報/「ミュージック・トゥデイ」(和田静香)/「われらニヤがの合唱ニヤン」(古沢望)/舞台スタッフ考⑥「空を見てください」(池辺晋一郎)
- ☆音楽会から「コーラ・ヴォーチェ石山」/木下そんき作品集 7面
- ☆プロ野球史上初のスライキ 8面

プロ野球史上初のスライキが、国民の圧倒的な支持のもと決行された。それについても古田敦也プロ野球選手会会長の堂々たる態度は素晴らしい。

☆ ☆ かつて筆者自身何回もスライキを経験してきたが、スト決行中の現場で見るとテレビで、スライキに対する非難の声が流れるたびに、ぐちゃい思いをさせられた。

☆ ☆ 「俺たちの要求はまっかたてはない。」それなら必ず国民に理解されるはずだ、組合として定期的な地域への宣伝行動を始めた。やがては、スライキの時に職場のまわりの地域の人たちが、炊出しをして支援してくれるような、そんな労働運動にしようと思っただけだった。

☆ ☆ しかし、支配者たちはちゃんと見ていたのだ、日本の労働運動の中にそのような地道な活動が広がり始めたことを。国鉄で言えばヤミ・カラ・ポカとマスコミ総動員の攻撃が開始されたのはそれから間もなくだった。

☆ ☆ もちろん、それを許してしまう素地が労働運動の側にあったことは否定できない。この度のスライキから学ぶべきことがそこにある。